

CS通信

北海道余市養護学校
学校運営協議会
第2号（通巻5号）

発行：令和5年11月15日

第2回学校運営協議会を分校単独開催！！

令和5年10月31日（火）14時30分から、令和5年度余市養護学校第2回学校運営協議会（以下CS）を開催しました。当日は、分校単独での開催となり、5名の委員の皆様をお迎えし、これまで取り組んできた各学部の教育活動を説明した後、各学部の課題について、委員の皆様と学部主事、教務主任がグループとなり熟議を行いました。委員の皆様からは、各学部の取組や課題に対して、貴重な御指摘と御意見をいただきました。

Ⅰ 各学部における教育活動について

各学部主事から、第1回学校運営協議会の熟議で用いた3つの柱に基づき関連する教育活動の報告を行いました。

【柱1】 児童生徒一人一人の可能性を引き出す教育活動の推進

小学部



アールブリュット作品展で、児童が描いた作品が「札幌市教育長賞」を受賞しました。多くの作品展等に応募することで、児童の意欲を高めています。

中学部



自立活動の指導では、生徒同士のコミュニケーション力を高めたり、自分の気持ちを調整したりするために集団で目的を持って学んでいます。

高等部



作業学習では、使用済みのろうそくを再利用した、キャンドルづくりや校内の環境美化や整備を行うことを通して、卒業後の生活に必要な力を学んでいます。

委員の皆様から

・地域の方々に喜んでもらったと生徒自身が伝えてくることがあった。引き続き、生徒から色々な声を聞きたい。

（富樫委員）

・フットパス交流でブナの木の手紙をいただき、キーホルダーにしている。ブナの木を活用した取組は継続するとよい。

（小谷委員）

【柱2】 学びの機会を保障し、質を高める教育環境の推進

小学部



黒松内小学校と交流学习を行いました。同じ学年や学校の児童と、歌や踊りの発表を行うとともに、協力してものを運ぶゲームを行い一緒に楽しみました。

中学部



歌オブナ林を活用し、四季の特徴や自然、小動物に触れる機会を充実しました。また、ブナセンターを利用して、黒松内町やブナ林についてより深く学びました。

高等部



各教科において、生徒一人一人がタブレット端末を活用した授業を行っています。何度も繰り返してやり直しができることで少しずつ苦手意識が軽減されました。

委員の皆様から

・黒松内の地域資源を活用することは良いことである。「調べる」、「確かめる」といった学びのポイントがたくさんある。

（内山委員）

・児童生徒が実体験を通して、色々なことに取り組むことで深い学びにつながり成長にもなる。また、充実した教育活動を行っていることが分かった。

（藤田委員）

【柱3】 地域と歩む、持続可能な教育活動の実現

小学部



1日防災学校では、黒松内町に協力いただき、給食を防災給食として提供いただくことで、1日を通して防災について学習することができました。

中学部



フットパス交流では、フットパスコースの整備や交流会に参加した方々の参加賞の製作・納品するなど、目的の達成に向けた学習に取り組みました。

高等部



総合的な学習の時間で、近くの福祉施設を訪問し、使用している車いすの清掃を行いました。また、地域のお店を活用した調べ学習に取り組みました。

委員の皆様から

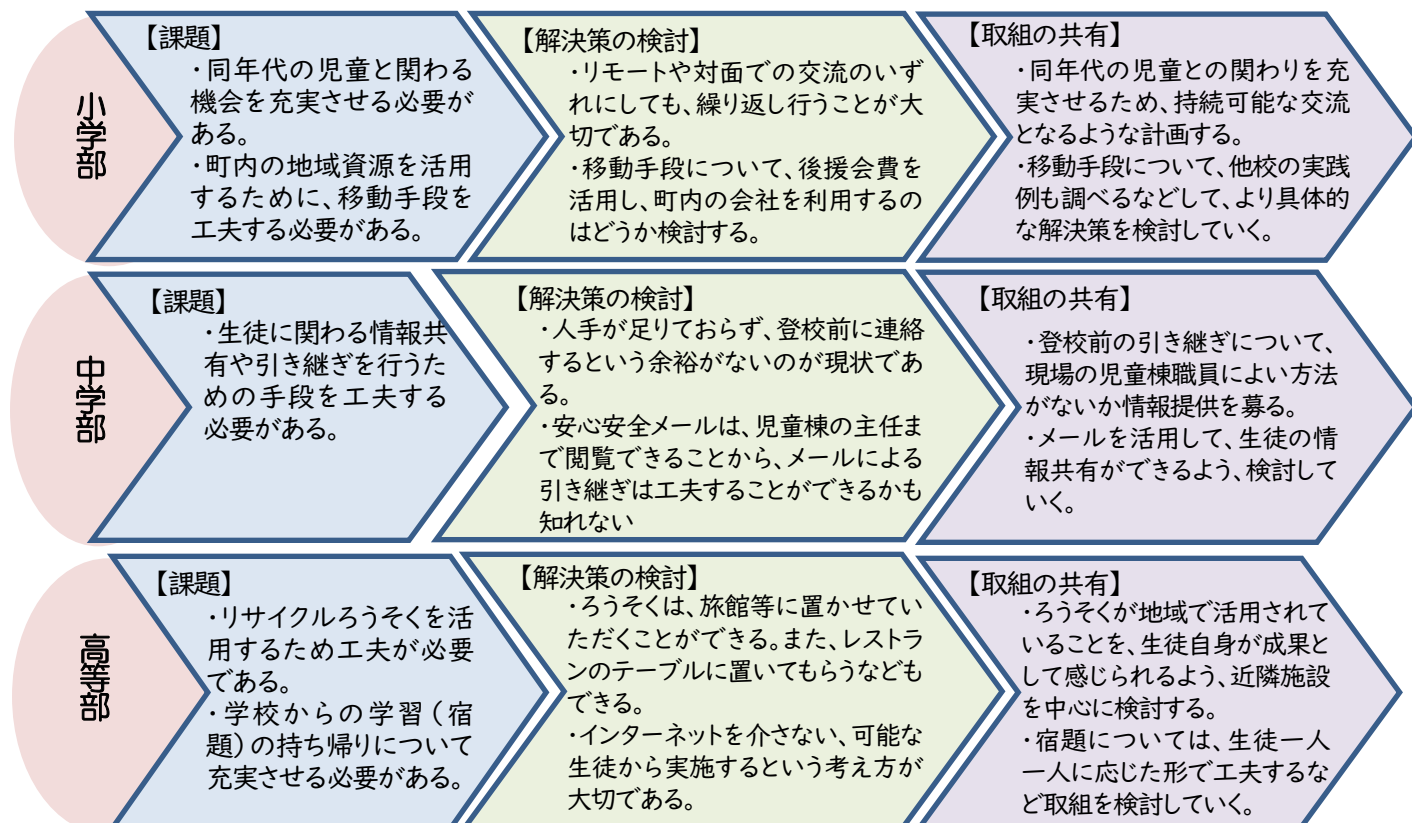
・防災教育に関わる学習を1日にまとめて行う取組は、とても良いと感じ、参考になった。また、色々なサークルや団体があるので、実際にやっているところを見ることも経験という点で大切だと考える。

（金石委員）

2 熟議①「各学部の児童生徒の Well-being を実現するために」

熟議では、CS委員と教職員が直接、各学部の課題を共有した上で具体的な方策について検討しました。課題解決に向けて、委員の皆様から御指摘や御意見を伺うことができるとともに、今後の方向性や具体策を得る貴重な熟議となりました。

また、話し合った内容を踏まえ、今年度や次年度以降の教育活動の充実、そして児童生徒の幸せにつながるよう、取組の共有を行いました。



引き続き、「**地域とともにある学校づくり**」と「**学校を核とした地域づくり**」のために、地域と学校が一体となった取組を推進できるよう努めて参ります。

3 熟議②「学校いじめ防止基本方針の改定」について

本年3月に「北海道いじめ防止基本方針」の一部が改定されたことを踏まえ、本校でも、これまでの「いじめ防止基本方針」を見直し、改定しました。

改定した点としては、生徒指導の視点から、生徒指導提要にある、重層的支援構造を参考に、教育活動全体を通して、児童生徒の自己有用感や規範意識を高め、豊かな人間性や社会性を育てる等を追加しました。

また、本校として日常的な相談できる機会を充実させる取組として、健康観察・相談フォームを作成し、そのチラシを各教室に掲示することで、日常的にいつでも、一人一人がタブレット端末を活用して相談できる体制を整えたところです。今後、改定した旨、保護者の皆さまにお伝えするとともに、HPに掲載するなどして周知を図ります。

相談フォームがあるから大丈夫、安心ということではない。日常的に児童生徒の相談に応じていくことも大切である。

(内山委員)

【富樫副会長からの挨拶】

11月11日（土）に学習発表会を迎えることとなりますが、毎年、児童生徒の長所を生かした発表をとても楽しみにしています。また、12月には、コロナ禍で中止となっていた音楽交歓会が行われなど、こちらも同様に楽しみにしております。教職員の皆様におかれましては、地域の教育資源をたくさん活用し、子どもたちにたくさんの経験を通して、成長させていただきましますよう、引き続きお願い申し上げます。

【校長からの挨拶】

地域と連携した教育活動については、同じような活動であっても、各学部で目的やねらい、1つ1つの活動の性格も異なっています。そのような中でも、地域の方々とつながることは、共生社会の実現を目指すことにもつながる重要な取組でもあります。

今後とも、地域での様々な活動や授業づくりに努めるとともに、委員の皆様からちょうだいした、御意見を、次年度の学校経営方針に生かして参ります。

【編集後記】

- ・御意見や御感想等がありましたら、下記にアクセスするか、右の二次元バーコードからフォームを読み込み、お知らせください。お待ちしております。
- ・今後も、地域と繋がり、学び合う余市養護学校をめざしていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【 <https://forms.gle/cKaKpFMZbccod58u6> 】

